

はじめに

県内中小企業（株式会社三重ロボット外装技術研究所）が、開発したロボット用センサの性能試験方法をJIS規格化した。国の新市場創造型標準化支援制度を活用することで、中小企業単独による提案であっても規格化まで実現することができた。

弊所では、標準化支援制度への提案から規格化までを支援したことから、その経緯を紹介する。

新市場創造型標準化支援事業とは

先端技術・サービスを保有する企業や、ニッチな分野で魅力的な製品を作る中小企業が、原案作成委員会等の設置について業界団体等の協力が得られない場合においても規格開発が進められるように後押しする制度

標準化された客観的基準で
品質・性能を評価



先駆的な製品・サービス

新市場の創造に成功



信用できる

出典 <https://www.meti.go.jp/policy/economy/hyojun-kijun/katsuyo/shinshijo/index.html>

標準化の狙い



接触検知センサー
(三重ロボット外装技術研究所)

特許技術を基にこれまでにない特長を持つ接触検知センサー（ロボットの外装に用いて接触から保護するための装置）を開発

- 特長**
- ・ 少ないセンサーで大きな面積を保護
 - ・ 接触時の衝撃を吸収できる柔らかな表面
 - ・ 自由な形状にでき、高い意匠性・デザイン性

課題

これまでにない製品のため統一的な**性能評価方法**がなく、類似製品との性能の差別化が十分に行えない。

標準化

性能の見える化による
信頼性向上・取引先拡大

標準化の流れ

標準化支援制度
活用申請



JISC*1審査
制度採択



原案作成委員会
立ち上げ



規格開発



JISCによる規格原
案の審議・承認

三重ロボット外装技術研究所
パートナーシップ機関：
産業技術総合研究所
三重県産業支援センター

事務局：JSA

委員：生産者（三重ロボット外装技術研究所※、他1社）
使用者（日本ロボット工業会、他5社）
中立者（産総研※、公設試※（東京、三重）他3者）

※分科会を兼務 弊所は主査として参画

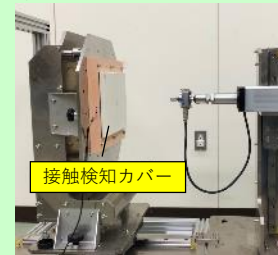
JIS制定

主な作業（太字：弊所が支援した項目）
JSA*2アドバイザーの支援を受けて申請書を作成
・ **標準化のテーマや内容を整理**
・ **JIS素案の作成**
・ 補足資料の準備
製品概要
類似技術との差異

*1 日本産業標準調査会、*2 一般財団法人日本規格協会

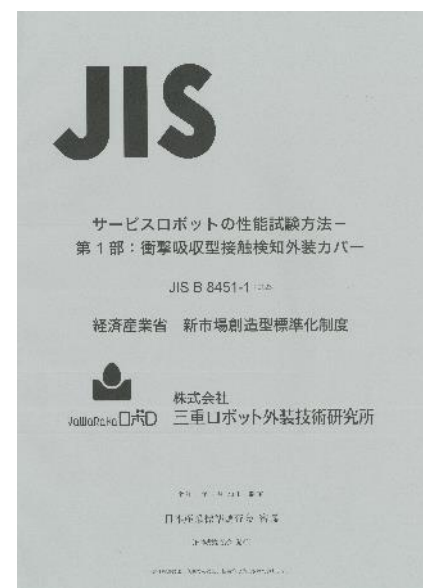
主な作業（開催：委員会3回、分科会6回）

- ・ 委員会での方向性確認
- ・ **JIS原案（案）の作成（分科会）**
試験方法の文書化
検証試験の実施
- ・ 委員会での議論と合意形成
JIS原案（案）の修正
- ・ JSAによる文章や用語等の校正
- ・ JIS原案の完成



接触検知カバー

検証試験の実施例



今後の展開

JIS規格に基づく製品の性能試験の実施
国際規格ISO/IEC等への標準化提案